

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Satoshi HIKAI

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: SIDING BOARDS ATTACHMENT STRUCTURE AND STARTER FITTING

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

COUNTRY

APPLICATION NUMBER

MONTH/DAY/YEAR

Japan

2000-312346

October 12, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
 - ☐ are submitted herewith
 - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.


C. Irvin McClelland

Registration No. 21,124



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/98)



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年10月12日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-312346

出 願 人

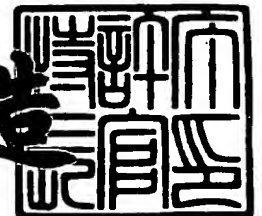
Applicant(s):

ニチハ株式会社

2001年 6月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3054253

【書類名】 特許願

【整理番号】 QH-71300

【提出日】 平成12年10月12日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 E04F 13/00

【発明の名称】 外壁施工構造及びスタータ金具

【請求項の数】 12

【発明者】

 【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区港区汐止町12番地 二チハ株式会社内

 【氏名】 肥海 聡芝

【特許出願人】

 【識別番号】 000110860

 【氏名又は名称】 二チハ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100079142

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 高橋 祥泰

【選任した代理人】

 【識別番号】 100110700

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岩倉 民芳

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009276

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 0008751

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 外壁施工構造及びスタータ金具

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 最下部の外壁板を支承するスタータ金具と、上記最下部の外壁板の下方に配置される土台水切と、上記スタータ金具を固定する胴縁と、上記スタータ金具に支承させた外壁板とよりなる外壁施工構造において、

上記スタータ金具は、上記胴縁に固定する平坦な裏側面を有する基板部と、該基板部より前方へ屈曲形成した外壁板支承用の支承部と、上記基板部の左右両側において断面コ字状に形成した通気層形成用のスペーサ部とを有することを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 2】 請求項 1 において、上記スタータ金具は、建築物のコーナー部に配設されるスタータ金具であり、

該コーナー用スタータ金具は、上記基板部が、上記左右のスペーサ部の間において直角状に屈曲形成された第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板とよりなり、該第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板には、それぞれ上記支承部が形成されていることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 3】 請求項 1 又は 2 において、上記スペーサ部は、少なくとも上記外壁板と上記胴縁との間に設ける間隙と略同じ厚みを有していることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 4】 請求項 1 ～ 3 のいずれか一項において、上記スタータ金具の支承部は、その先端を斜め上方に屈曲形成した係止端部を有することを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 5】 請求項 1 ～ 4 のいずれか一項において、上記スペーサ部の下端は、上記支承部よりも下方まで延設されていることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 6】 請求項 1 ～ 5 のいずれか一項において、上記スタータ金具と土台水切とは、それぞれ上記胴縁に固定されていることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 7】 請求項 6 において、上記土台水切は、上記スタータ金具の下

端を位置合せするための段部を有し、該段部に上記スタータ金具の下端が当接していることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 8】 請求項 1～5 のいずれか一項において、上記スタータ金具は上記胴縁に固定され、上記土台水切は上記胴縁よりも内側において柱に固定されていることを特徴とする外壁施工構造。

【請求項 9】 建築物の最下部の外壁板を支承するためのスタータ金具であって、

該スタータ金具は、胴縁に固定する平坦な裏側面を有する基板部と、該基板部より前方へ屈曲形成した外壁板支承用の支承部と、上記基板部の左右両側において断面コ字状に形成した通気層形成用のスペーサ部とを有することを特徴とするスタータ金具。

【請求項 10】 請求項 9 において、上記スタータ金具は、建築物のコーナー部に配設されるスタータ金具であり、

該コーナー用スタータ金具は、上記基板部が、上記左右のスペーサ部の間において直角状に屈曲形成された第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板とよりなり、該第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板には、それぞれ上記支承部が形成されていることを特徴とするスタータ金具。

【請求項 11】 請求項 9 又は 10 において、上記スタータ金具の支承部は、その先端を斜め上方に屈曲形成した係止端部を有することを特徴とするスタータ金具。

【請求項 12】 請求項 9～11 のいずれか一項において、上記スペーサ部の下端は、上記支承部よりも下方まで延設されていることを特徴とするスタータ金具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】

本発明は、建築物の外壁施工構造及びこれに用いるスタータ金具に関する。

【0002】

【従来技術】

従来より、図 1 0 に示すごとく、最下部の外壁板 2 を支承するスタータ金具 9 を用いた外壁施工構造 9 0 がある（特開平 1 0 - 1 5 9 2 9 9 号公報）。該外壁施工構造 9 0 は、上記スタータ金具 9 と、上記最下部の外壁板 2 の下方に配置される土台水切 3 と、上記スタータ金具を固定する胴縁 4 と、上記スタータ金具 9 に支承させた外壁板 2 とよりなる。

なお、上記胴縁 4 は、防水紙 5 2 を介して建築物の柱 5 1 に固定されている。

【 0 0 0 3 】

上記スタータ金具 9 は、上記胴縁 4 に固定する基板部 9 1 と、その下端部 9 1 1 を上方に曲げ返した支承部 9 2 とを有する。

また、上記土台水切 3 は、上記胴縁 4 に固定する固定用背板 3 1 とその下方において前方下方に屈曲した水切板 3 3 とを有する。

【 0 0 0 4 】

上記外壁施工構造 9 0 においては、上記胴縁 4 に、上記土台水切 3 の固定用背板 3 1 を釘 6 2 により固定し、更に、該固定用背板 3 1 の外側から上記スタータ金具 9 の基板部 9 1 を釘 6 1 により固定してある。

そして、上記のごとく胴縁 4 に固定したスタータ金具 9 の支承部 9 2 に、上記最下部の外壁板 2 の下部上実 2 1 を支承させ、該外壁板 2 を施工してある。

【 0 0 0 5 】

【解決しようとする課題】

しかしながら、上記外壁施工構造 9 0 における上記スタータ金具 9 を配設する部分においては、図 1 0 に示すごとく、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 と上記胴縁 4 との間が非常に狭くなり、通気層が殆ど形成されない。そのため、この部分の胴縁 4 や外壁板 2 が腐食、劣化するおそれがある。

【 0 0 0 6 】

また、図 1 1 に示すごとく、土台水切 3 0 の固定用背板 3 1 0 を胴縁 4 の内側において固定し、スタータ金具 8 を上記胴縁 4 の外側に固定した外壁施工構造 8 0 がある。

該外壁施工構造 8 0 は、建築物の柱 5 1 に上記土台水切 3 0 の固定用背板 3 1 0 を配置し、その外側から防水紙 5 2 を介して胴縁 4 を固定し、更にその外側に

スタータ金具 8 をビス 6 3 により固定してある。そして、該スタータ金具 8 に外壁板 2 を支承させてある。なお、上記スタータ金具 8 は、通常留め付け金具として使用されるものをスタータ金具に流用した例である。

また、上記土台水切 3 0 の水切板 3 3 0 は、上記外壁板 2 の前方まで突出している。

【 0 0 0 7 】

上記スタータ金具 8 は、図 1 1 に示すごとく、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 に当接すると共に胴縁 4 に固定される基板部 8 1 と上記外壁板 2 の下部上実 2 1 を支承する支承部 8 2 とを有する。また、上記基板部 8 1 の上端部には後方に屈曲した斜面部 8 3 が形成され、上記基板部 8 1 の下端には、後方に屈曲した脚部 8 4 が形成されている。

上記スタータ金具 8 を用いることにより、図 1 1 に示すごとく、上記外壁板 2 を上記胴縁 4 から離れた状態で取付けることができる。それ故、上記外壁施工構造 8 0 においては、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 と上記胴縁 4 との間に通気層 8 0 3 が形成される。

【 0 0 0 8 】

ところが、上記外壁施工構造 8 0 においては、胴縁 4 が十分に下方に長く形成されていないと、上記スタータ金具 8 を安定して上記胴縁 4 に固定することが困難となり、外壁施工構造 8 0 の強度が不十分となるおそれがある。

即ち、図 1 2 に示すごとく、上記胴縁 4 が下方に短く、上記スタータ金具 8 を上記胴縁 4 の下端 4 1 からはみ出して固定しなければならない場合、上記スタータ金具 8 の脚部 8 4 を上記胴縁 4 に当接させることができない。それ故、スタータ金具 8 を胴縁 4 に安定して固定することが困難となり、外壁板 2 を安定した状態で施工することが困難となる。

その結果、風圧等に十分に耐えることのできる外壁施工構造を得ることができないおそれがある。

【 0 0 0 9 】

本発明は、かかる従来の問題点に鑑みてなされたもので、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造及びこれに用いるスタータ金具を提供しようとする

ものである。

【0010】

【課題の解決手段】

請求項1に記載の発明は、最下部の外壁板を支承するスタータ金具と、上記最下部の外壁板の下方に配置される土台水切と、上記スタータ金具を固定する胴縁と、上記スタータ金具に支承させた外壁板とよりなる外壁施工構造において、

上記スタータ金具は、上記胴縁に固定する平坦な裏側面を有する基板部と、該基板部より前方へ屈曲形成した外壁板支承用の支承部と、上記基板部の左右両側において断面コ字状に形成した通気層形成用のスペーサ部とを有することを特徴とする外壁施工構造にある。

【0011】

本発明において最も注目すべきことは、上記スタータ金具が、平坦な裏側面を有する上記基板部と、通気層形成用の上記スペーサ部とを有することである。

【0012】

次に、本発明の作用効果につき説明する。

上記外壁施工構造におけるスタータ金具は、上述のごとく、平坦な裏側面を有する上記基板部を有する。そのため、該基板部の全体を上記胴縁に固定することができる。これにより、上記スタータ金具を上記胴縁に安定して固定することができる。

【0013】

また、例え、上記胴縁が下方に短く、上記スタータ金具を胴縁の下端からはみ出すように固定しなければならない場合でも、上記基板部の平坦な裏側面を、上記胴縁に密着させて固定することができる（図6参照）。

それ故、風圧等に充分耐えることができる、強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

【0014】

また、上記外壁施工構造におけるスタータ金具は、上述のごとく、通気層形成用のスペーサ部を有する。そのため、上記外壁板の裏側面を上記スペーサ部に当接させることにより、上記外壁板の裏側面を上記胴縁から充分に離して施工する

ことができる。その結果、上記外壁板と上記胴縁との間に、十分な広さの間隙、即ち通気層を形成することができる。

これにより、上記外壁施工構造の通気性を確保することができる。それ故、上記外壁板の裏側面や胴縁等に湿気が溜まることを防ぎ、耐久性を向上させることができる。

【 0 0 1 5 】

以上のごとく、本発明によれば、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を提供することができる。

【 0 0 1 6 】

次に、請求項 2 に記載の発明のように、上記スタータ金具は、建築物のコーナー部に配設されるスタータ金具であり、

該コーナー用スタータ金具は、上記基板部が、上記左右のスペーサ部の間において直角状に屈曲形成された第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板とよりなり、該第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板には、それぞれ上記支承部が形成されているものであってもよい（図 7 ～図 9 参照）。

この場合には、特に建築物のコーナー部において、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

【 0 0 1 7 】

次に、請求項 3 に記載の発明のように、請求項 1 又は 2 において、上記スペーサ部は、少なくとも上記外壁板と上記胴縁との間に設ける間隙と略同じ厚みを有していることが好ましい。

これにより、上記外壁板と胴縁との間に、確実に十分な広さの通気層を形成することができる。

【 0 0 1 8 】

次に、請求項 4 に記載の発明のように、上記スタータ金具の支承部は、その先端を斜め上方に屈曲形成した係止端部を有することが好ましい。

これにより、上記スタータ金具は、最下部の外壁板をより確実に支承することができる。そのため、一層強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

【 0 0 1 9 】

次に、請求項 5 に記載の発明のように、上記スペーサ部の下端は、上記支承部よりも下方まで延設されていることが好ましい。

これにより、上記外壁板を一層安定して施工することができる。

【 0 0 2 0 】

次に、請求項 6 に記載の発明のように、上記スタータ金具と土台水切とは、それぞれ上記胴縁に固定されていてもよい（図 1 参照）。

この場合にも、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

【 0 0 2 1 】

次に、請求項 7 に記載の発明のように、上記土台水切は、上記スタータ金具の下端を位置合せするための段部を有し、該段部に上記スタータ金具の下端が当接していることが好ましい。

これにより、上記スタータ金具を正確な位置に、容易に固定することができる。

【 0 0 2 2 】

次に、請求項 8 に記載の発明のように、上記スタータ金具は上記胴縁に固定され、上記土台水切は上記胴縁よりも内側において柱に固定されていてもよい（図 5 参照）。

この場合にも、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

【 0 0 2 3 】

次に、請求項 9 に記載の発明のように、建築物の最下部の外壁板を支承するためのスタータ金具であって、

該スタータ金具は、胴縁に固定する平坦な裏側面を有する基板部と、該基板部より前方へ屈曲形成した外壁板支承用の支承部と、上記基板部の左右両側において断面コ字状に形成した通気層形成用のスペーサ部とを有することを特徴とするスタータ金具がある。

【 0 0 2 4 】

該スタータ金具は、上述のごとく、平坦な裏側面を有する上記基板部を有する

ため、該基板部の全体を上記胴縁に固定することができる。これにより、上記スタータ金具を上記胴縁に安定して固定することができる。

また、例えば、上記胴縁が下方に短く、上記スタータ金具を胴縁の下端からはみ出すように固定しなければならない場合でも、上記基板部の平坦な裏側面を、上記胴縁に密着させて固定することができる。

【 0 0 2 5 】

また、上記スタータ金具は、上述のごとく、通気層形成用のスペーサ部を有するため、上記外壁板の裏側面を上記スペーサ部に当接させることにより、上記外壁板と胴縁との間に、十分な通気層を形成することができる。

これにより、外壁施工構造の通気性を確保することができ、耐久性を向上させることができる。

【 0 0 2 6 】

以上のごとく、本発明によれば、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を施工できるスタータ金具を提供することができる。

【 0 0 2 7 】

次に、請求項 1 0 に記載の発明のように、上記スタータ金具は、建築物のコーナー部に配設されるスタータ金具であり、

該コーナー用スタータ金具は、上記基板部が、上記左右のスペーサ部の間において直角状に屈曲形成された第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板とよりなり、該第 1 コーナー基板と第 2 コーナー基板には、それぞれ上記支承部が形成されているものであってもよい。

この場合には、特に建築物のコーナー部において、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を施工することができる。

【 0 0 2 8 】

次に、請求項 1 1 に記載の発明のように、上記スタータ金具の支承部は、その先端を斜め上方に屈曲形成した係止端部を有することが好ましい。

これにより、最下部の外壁板をより確実に支承することができるスタータ金具を得ることができる。

【 0 0 2 9 】

次に、請求項 1 2 に記載の発明のように、上記スペーサ部の下端は、上記支承部よりも下方まで延設されていることが好ましい。

これにより、上記外壁板を一層安定して施工することができる。

【 0 0 3 0 】

【発明の実施の形態】

実施形態例 1

本発明の実施形態例にかかる外壁施工構造及びスタータ金具につき、図 1 ～図 4 を用いて説明する。図 1 は本例の外壁施工構造 5 の縦断面図であり、図 2 は水平断面図である。また、図 3 は本例のスタータ金具 1 の斜視図であり、図 4 (A) はその正面図、(B) は平面図である。

【 0 0 3 1 】

本例の外壁施工構造 5 は、図 1、図 2 に示すごとく、最下部の外壁板 2 を支承するスタータ金具 1 と、上記最下部の外壁板 2 の下方に配置される土台水切 3 と、上記スタータ金具 1 を固定する胴縁 4 と、上記スタータ金具 1 に支承させた外壁板 2 とよりなる。

【 0 0 3 2 】

上記スタータ金具 1 は、図 3、図 4 (A)、(B) に示すごとく、上記胴縁 4 に固定する平坦な裏側面 1 1 1 を有する基板部 1 1 と、該基板部 1 1 より前方へ屈曲形成した外壁板 2 支承用の支承部 1 2 と、上記基板部 1 1 の左右両側において断面コ字状に形成した通気層形成用のスペーサ部 1 3 とを有する。

【 0 0 3 3 】

図 1、図 2 に示すごとく、上記スタータ金具 1 と土台水切 3 とは、それぞれ釘 6 1、6 2 によって上記胴縁 4 に固定されている。該胴縁 4 は、建築物の柱 5 1 に防水紙 5 2 を介して固定されている。

また、上記土台水切 3 は、上記胴縁 4 に固定する固定用背板 3 1 と、その下方において前方下方に屈曲した水切板 3 3 とを有する。該水切板 3 3 の先端からは下方へ屈曲した垂下板 3 4 が形成されている。

【 0 0 3 4 】

上記固定用背板 3 1 の下端には、上記スタータ金具 1 の下端を位置合せするた

めの段部 3 2 が前方に屈曲形成されている。外壁施工構造 5 においては、該段部 3 2 に上記スタータ金具 1 の下端、即ち上記スペーサ部 1 3 の下端 1 3 1 が当接している。

【 0 0 3 5 】

また、図 1、図 3 に示すごとく、上記スタータ金具 1 の支承部 1 2 は、その先端を斜め上方に屈曲形成した係止端部 1 2 1 を有する。そして、該係止端部 1 2 1 の上端からは下方に屈曲した前板部 1 2 2 が形成されている。

図 1 に示すごとく、上記係止端部 1 2 1 は上記外壁板の下部上実 2 1 を係止し、上記前板部 1 2 2 は上記下部上実 2 1 の裏側面 2 1 1 に当接している。

【 0 0 3 6 】

また、図 3、図 4 (A) に示すごとく、上記スタータ金具 1 のスペーサ部 1 3 の下端 1 3 1 は、上記支承部 1 2 よりも下方まで延設されている。また、上記スペーサ部 1 3 は、少なくとも上記外壁板 2 と上記胴縁 4 との間に設ける間隙、即ち通気層 5 3 (図 1) と略同じ厚みを有している。換言すれば、上記スペーサ部 1 3 は、設けようとする通気層 5 3 の厚み分、上記基板部 1 1 から前方へ突出させて形成してある。

【 0 0 3 7 】

上記スタータ金具 1 は、ステンレス板を折り曲げ加工することにより、上記支承部 1 2 やスペーサ部 1 3 等を形成している。そのため、上記支承部 1 2 の左右両端部における基板部 1 1 には、折り曲げ用の切込 1 1 2 が形成されている。

また、上記支承部 1 2 の強度を向上させるため、基板部 1 1 と支承部 1 2 との間の屈曲部には、補強用凹部 1 1 4 が形成されている。

また、上記基板部 1 1 には、釘 6 1 或いはビスを挿通するための大小 2 種類の貫通孔 1 1 3 が形成されている。

【 0 0 3 8 】

次に、本例の作用効果につき説明する。

上記スタータ金具 1 は、上述のごとく、平坦な裏側面 1 1 1 を有する上記基板部 1 1 を有する。そのため、該基板部 1 1 の全体を上記胴縁 4 に固定することができる。これにより、上記スタータ金具 1 を上記胴縁 4 に安定して固定すること

ができる。

それ故、風圧等に充分耐えることができる、強度の高い外壁施工構造 5 を得ることができる。

【 0 0 3 9 】

また、上記スタータ金具 1 は、上述のごとく、通気層 5 3 形成用のスペーサ部 1 3 を有する。そのため、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 を上記スペーサ部 1 3 に当接させることにより、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 を、上記胴縁 4 から充分に離して施工することができる。その結果、上記外壁板 2 と上記胴縁 4 との間に、充分な広さの間隙、即ち通気層 5 3 を形成することができる。

これにより、上記外壁施工構造 5 の通気性を確保することができる。それ故、上記外壁板 2 の裏側面 2 2 や胴縁 4 等に湿気が溜まることを防ぎ、耐久性を向上させることができる。

【 0 0 4 0 】

また、上記スタータ金具 1 のスペーサ部 1 3 は、少なくとも上記外壁板 2 と胴縁 4 との間に設ける間隙と略同じ厚みを有しているため、上記外壁板 2 と胴縁 4 との間に、確実に充分な広さの通気層 5 3 を形成することができる。

【 0 0 4 1 】

また、上記スタータ金具 1 の支承部 1 2 は、上記係止端部 1 2 1 を有する。そのため、上記スタータ金具 1 は、最下部の外壁板 2 をより確実に支承することができる。

また、上記スペーサ部 1 3 の下端 1 3 1 は、上記支承部 1 2 よりも下方まで延設されている。これにより、上記外壁板 2 を一層安定して施工することができる。

【 0 0 4 2 】

また、上記土台水切 3 は、上記段部 3 2 を有し、該段部に上記スタータ金具 1 の下端、即ちスペーサ部 1 3 の下端 1 3 1 が当接している。そのため、上記スタータ金具 1 を正確な位置に、容易に固定することができる。

【 0 0 4 3 】

以上のごとく、本例によれば、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構

造及びスタータ金具を提供することができる。

【 0 0 4 4 】

実施形態例 2

本例は、図 5、図 6 に示すごとく、スタータ金具 1 を胴縁 4 に固定し、土台水切 3 0 を上記胴縁 4 よりも内側において柱 5 1 に固定してなる外壁施工構造 5 0 の例である。

上記スタータ金具 1 の構成は、実施形態例 1 と同様である。また、上記土台水切 3 0 は、固定用背板 3 1 0 と水切板 3 3 0 と垂下板 3 4 0 とからなる。

【 0 0 4 5 】

上記外壁施工構造 5 0 は、建築物の柱 5 1 に、上記土台水切 3 0 の固定用背板 3 1 0 を釘 6 2 により固定し、その外側から前面に防水紙 5 2 を介して上記胴縁 4 を固定してある。そして、該胴縁 4 に上記スタータ金具 1 の基板部 1 1 を密着させるようにして釘 6 1 により固定してある。

その他は、実施形態例 1 と同様である。

【 0 0 4 6 】

この場合にも、実施形態例 1 と同様に、通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

また、図 6 に示すごとく、上記胴縁 4 が下方に短く、上記スタータ金具 1 を胴縁 4 の下端 4 1 からはみ出すように固定しなければならない場合でも、上記基板部 1 1 の平坦な裏側面 1 1 1 を、上記胴縁 4 に密着させて固定することができる。

【 0 0 4 7 】

そのため、上記スタータ金具 1 を、安定して胴縁 4 に固定することができる。従って、上記のように上記胴縁 4 が下方に短い場合（図 6）にも、強度の高い外壁施工構造 5 0 を得ることができる。

その他、実施形態例 1 と同様の作用効果を有する。

【 0 0 4 8 】

実施形態例 3

本例は、図 7 ～図 9 に示すごとく、建築物のコーナー部に配設されるスタータ

金具 1 0 及びこれを用いた外壁施工構造 5 0 0 の例である。

図 7 は上記スタータ金具 1 0 の斜視図，図 8 はその平面図，図 9 は上記外壁施工構造 5 0 0 の水平断面図である。

【 0 0 4 9 】

上記コーナー用スタータ金具 1 0 は，図 7，図 8 に示すごとく，基板部 1 1 が，上記左右のスペーサ部 1 3 の間において直角状に屈曲形成された第 1 コーナー基板 1 1 5 と第 2 コーナー基板 1 1 6 とよりなる。該第 1 コーナー基板 1 1 5 と第 2 コーナー基板 1 1 6 には，それぞれ支承部 1 2 が形成されている。

【 0 0 5 0 】

図 9 に示すごとく，上記外壁施工構造 5 0 0 においては，建築物のコーナー部の柱 5 1 における外側の 2 面に，防水紙 5 2 を介して胴縁 4 がそれぞれ固定されている。該胴縁 4 の外側には，土台水切 3 の固定用背板 3 1 を固定し，その外側から上記スタータ金具 1 0 を釘 6 1 により上記胴縁 4 に固定してある。

その他は，実施形態例 1 と同様である。

【 0 0 5 1 】

この場合には，特に建築物のコーナー部において，通気性に優れると共に，強度の高い外壁施工構造を得ることができる。

その他，実施形態例 1 と同様の作用効果を有する。

【 0 0 5 2 】

【発明の効果】

上述のごとく，本発明によれば，通気性に優れると共に，強度の高い外壁施工構造及びこれに用いるスタータ金具を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

実施形態例 1 における，外壁施工構造の縦断面図。

【図 2】

実施形態例 1 における，外壁施工構造の水平断面図。

【図 3】

実施形態例 1 における，スタータ金具の斜視図。

【図 4】

実施形態例 1 における，スタータ金具の（A）正面図，（B）平面図。

【図 5】

実施形態例 2 における，外壁施工構造の縦断面図。

【図 6】

実施形態例 2 における，胴縁が短い場合の外壁施工構造の縦断面図。

【図 7】

実施形態例 3 における，スタータ金具の斜視図。

【図 8】

実施形態例 3 における，スタータ金具の平面図。

【図 9】

実施形態例 3 における，外壁施工構造の水平断面図。

【図 1 0】

従来例における，外壁施工構造の縦断面図。

【図 1 1】

他の従来例における，外壁施工構造の縦断面図。

【図 1 2】

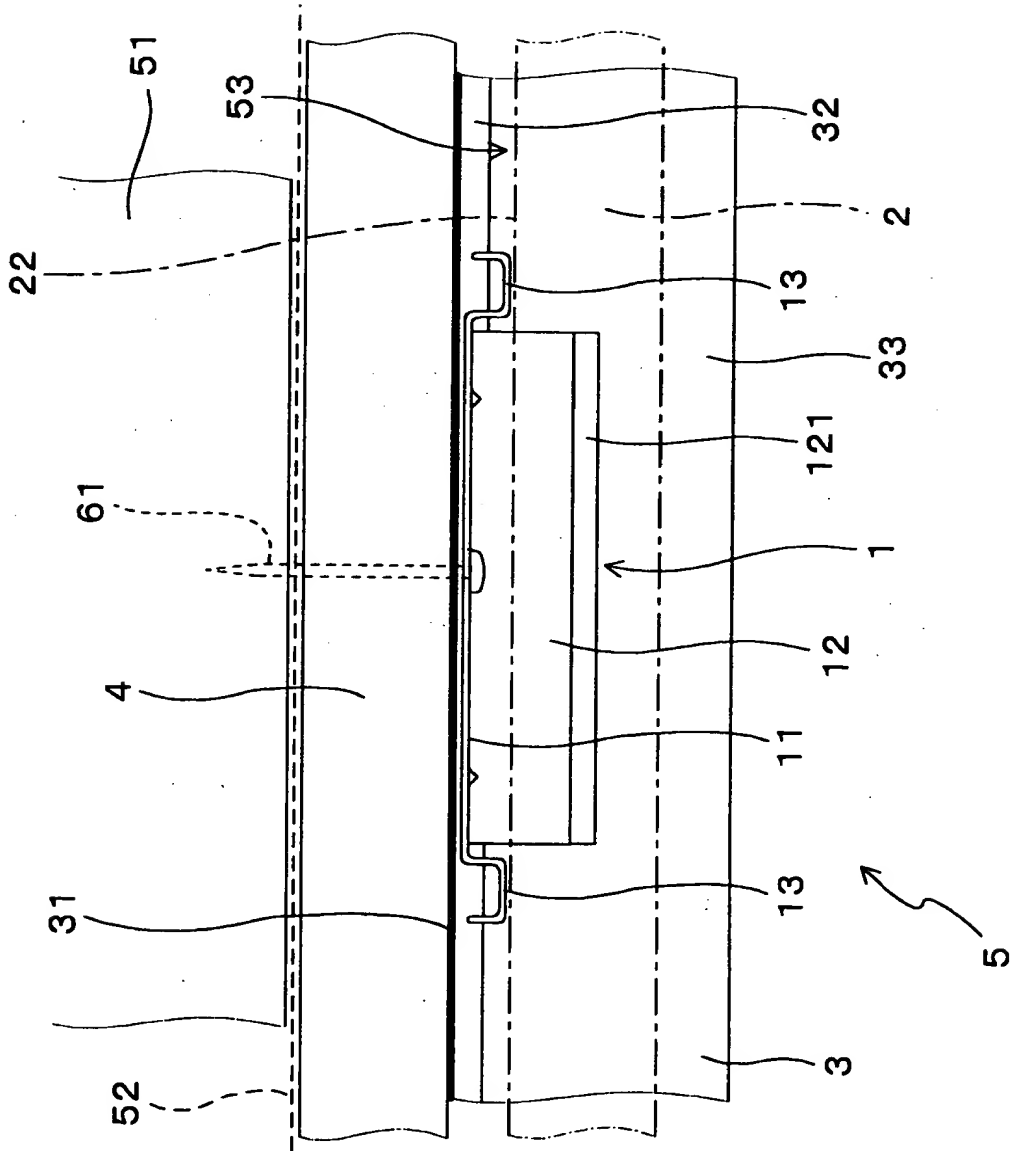
他の従来例における，胴縁が短い場合の外壁施工構造の縦断面図。

【符号の説明】

- 1， 1 0 . . . スタータ金具，
- 1 1 . . . 基板部，
- 1 2 . . . 支承部，
- 1 3 . . . スペーサ部，
- 2 . . . 外壁板，
- 3 . . . 土台水切，
- 4 . . . 胴縁，
- 5， 5 0， 5 0 0 . . . 外壁施工構造，

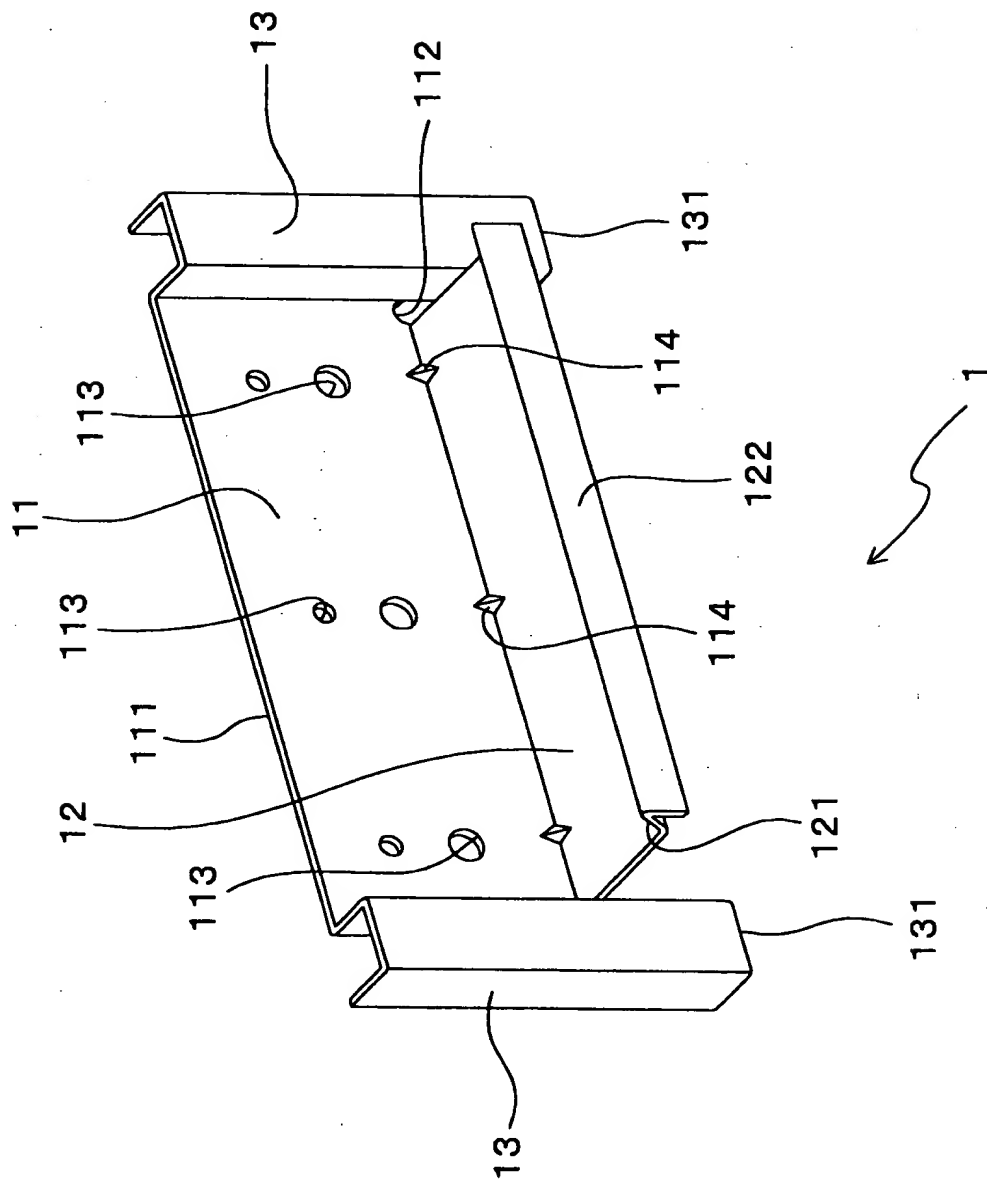
【図 2】

(図 2)



【図 3】

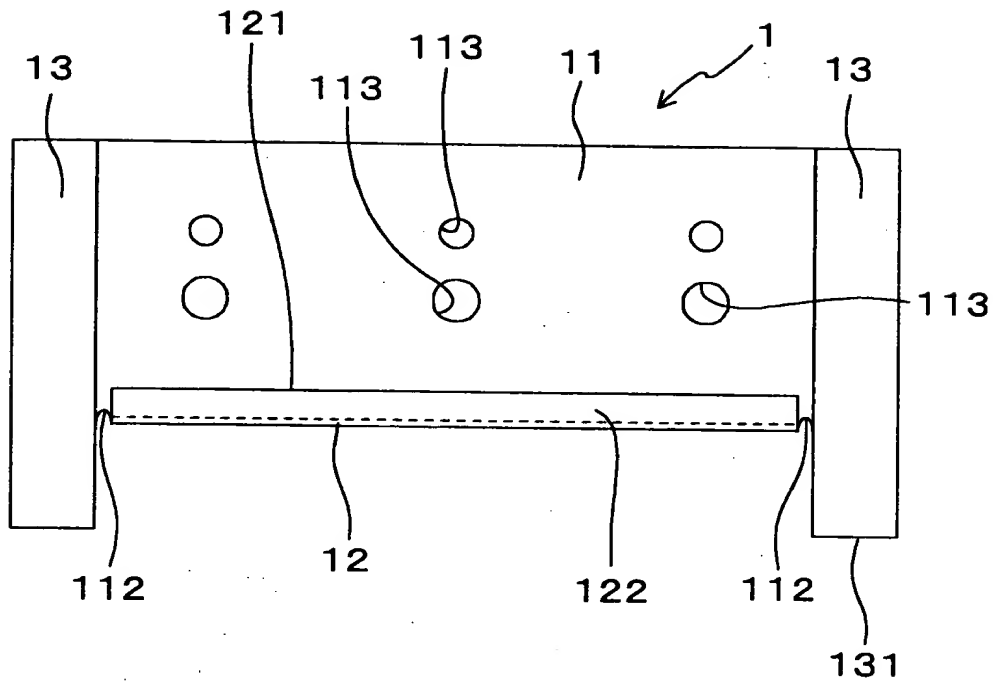
(図 3)



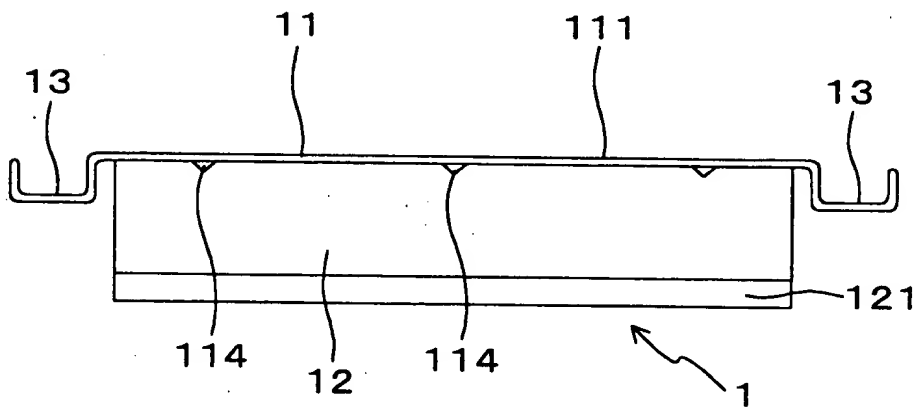
【図4】

(図4)

(A)

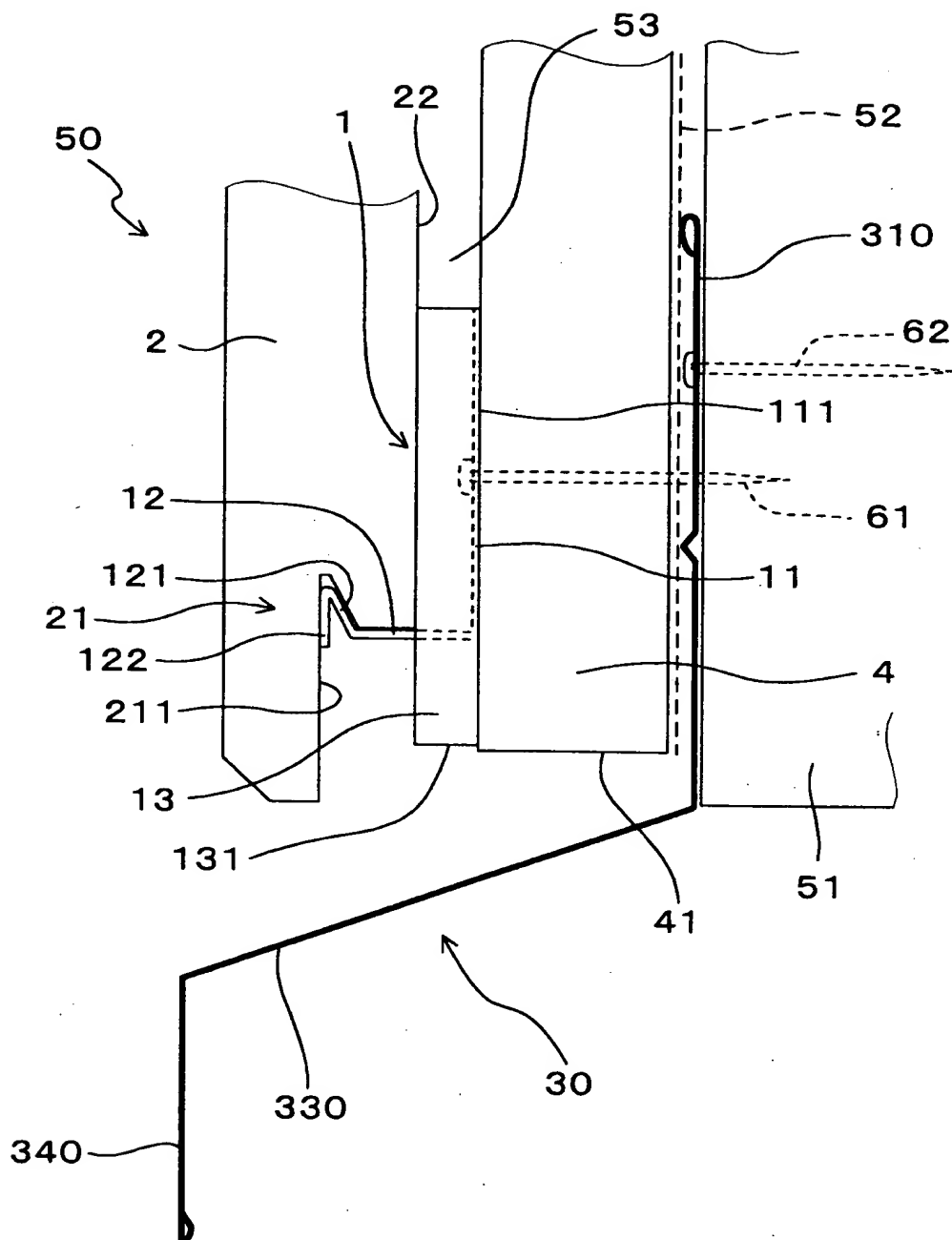


(B)



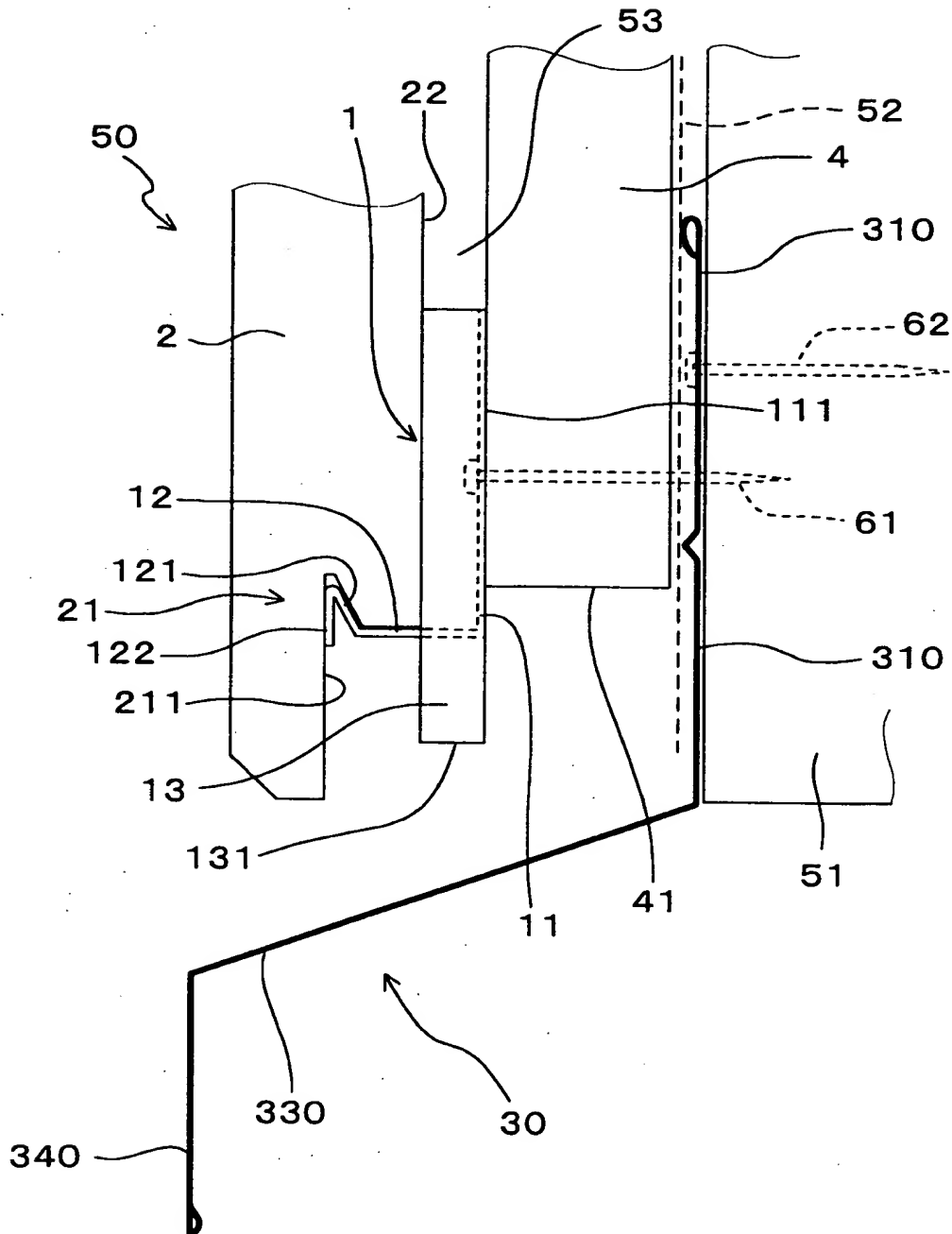
【図 5】

(図 5)



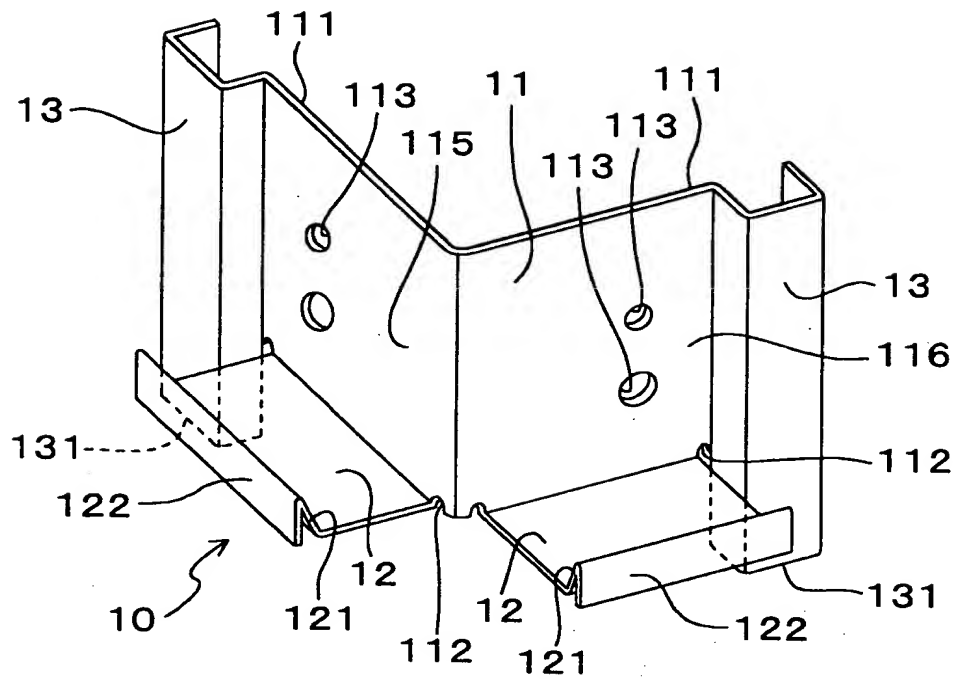
【図 6】

(圖 6)



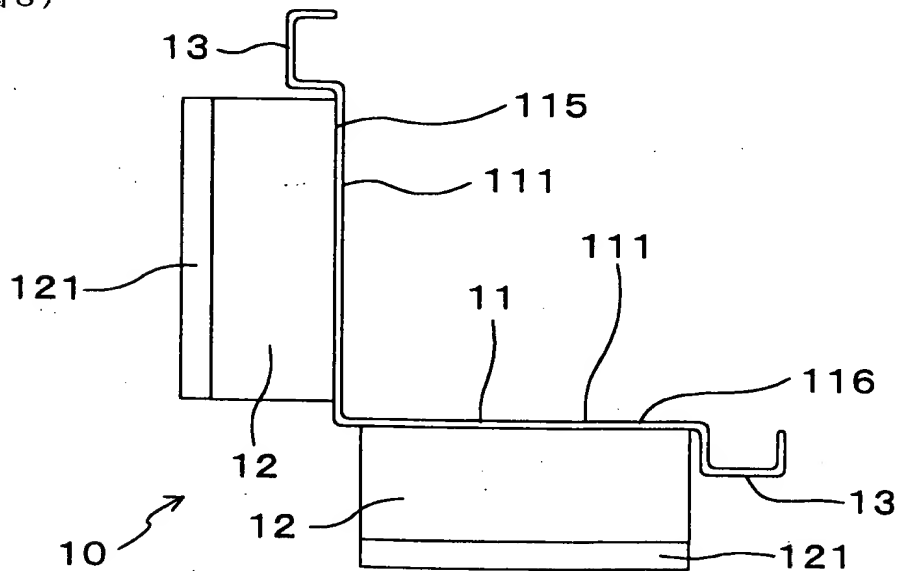
【図7】

(図7)



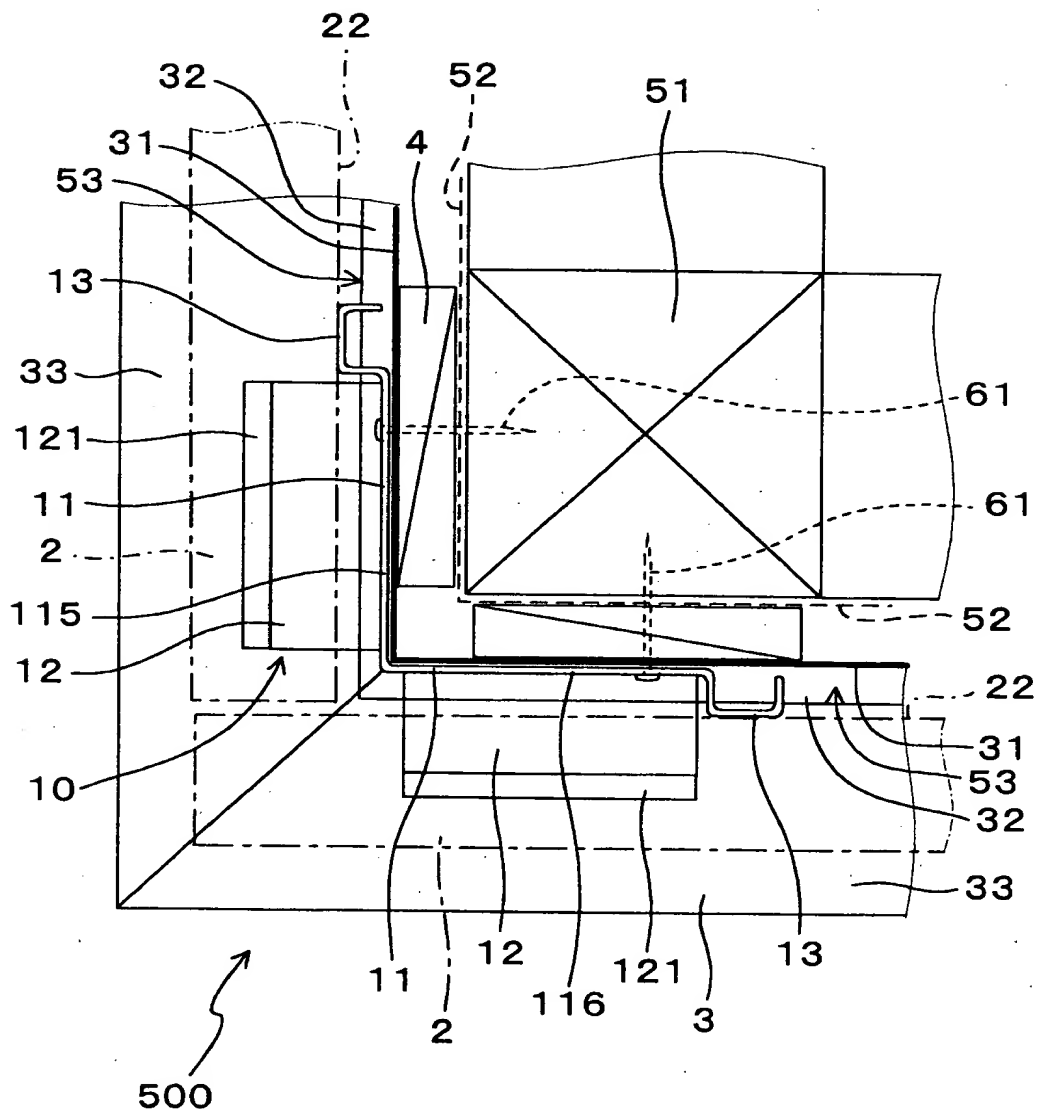
【図8】

(図8)



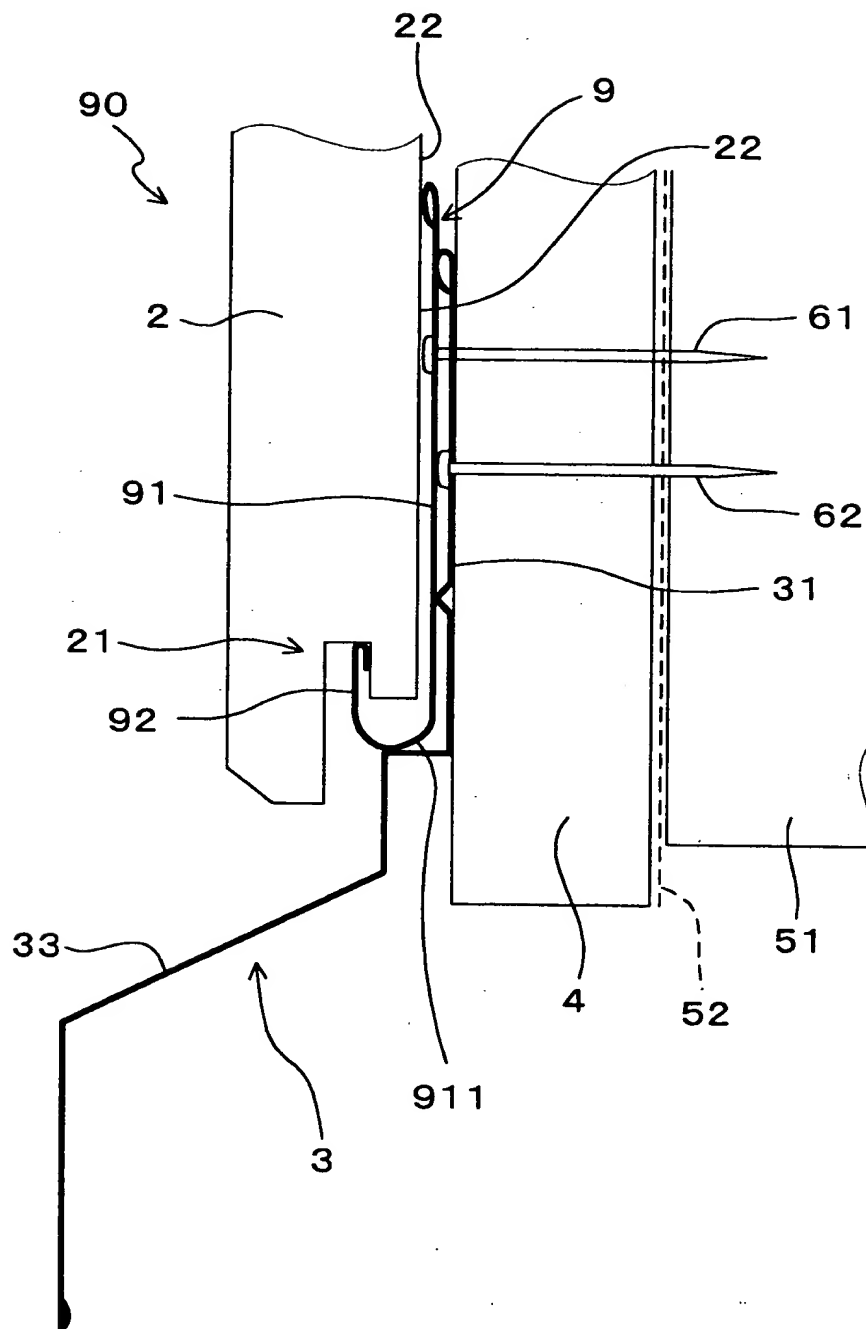
【図 9】

(圖 9)



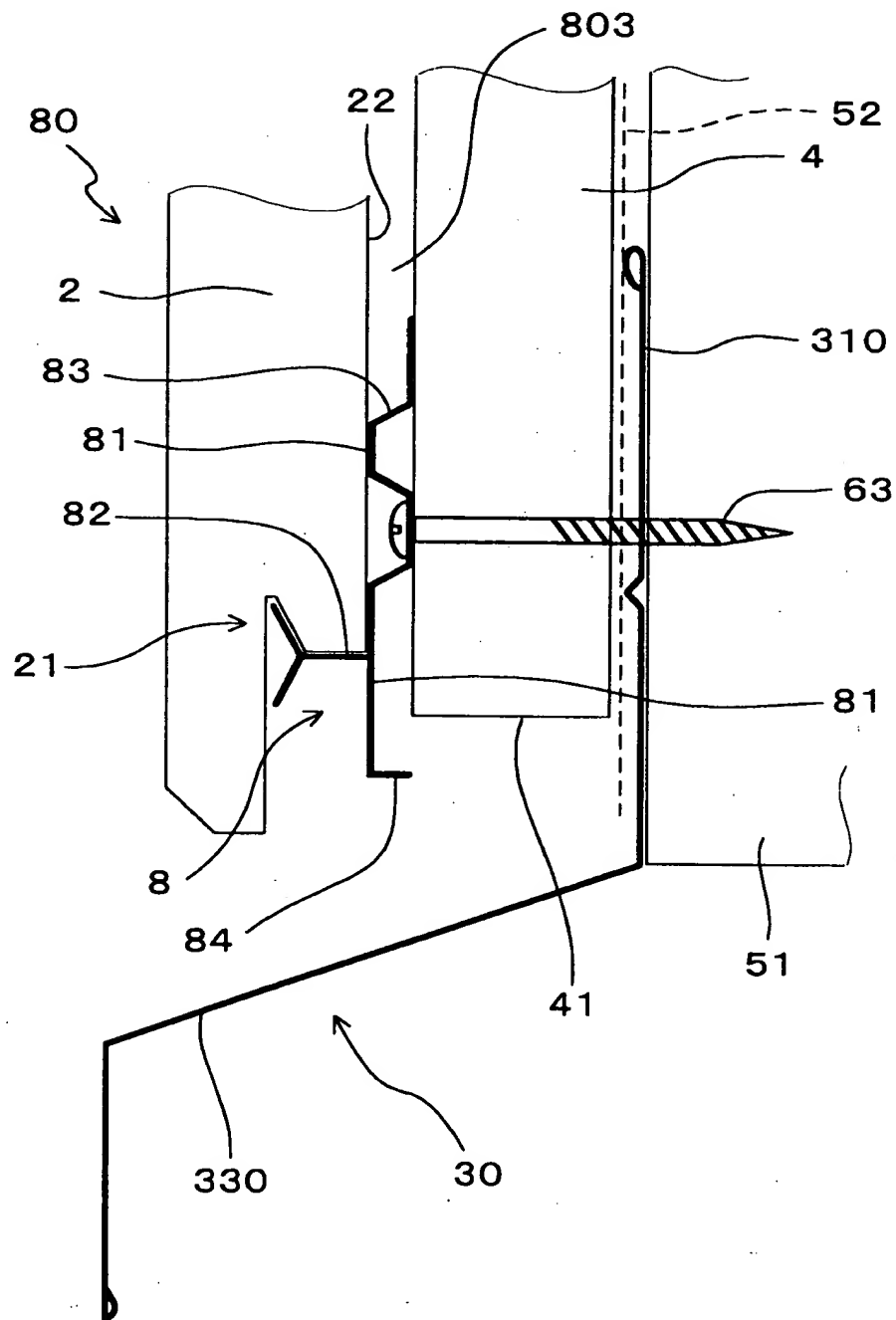
【図 1.0】

(図 10)



【図 1・2】

(圖 12)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 通気性に優れると共に、強度の高い外壁施工構造及びこれに用いるスタータ金具を提供すること。

【解決手段】 最下部の外壁板 2 を支承するスタータ金具 1 と、最下部の外壁板 2 の下方に配置される土台水切 3 と、スタータ金具 1 を固定する胴縁 4 と、スタータ金具 1 に支承させた外壁板 2 とよりなる外壁施工構造 5。スタータ金具 1 は、胴縁 4 に固定する平坦な裏側面 1 1 1 を有する基板部 1 1 と、基板部 1 1 より前方へ屈曲形成した外壁板 2 支承用の支承部 1 2 と、基板部 1 1 の左右両側において断面コ字状に形成した通気層 5 3 形成用のスペーサ部 1 3 とを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000110860]

1. 変更年月日	1990年 8月23日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛知県名古屋市港区汐止町12番地
氏 名	二子八株式会社